

日本での導入実績が多いオープンソースLMS



Resonant LMS XP

Resonant LMS XPは、多くの大学で導入実績のあるオープンソースLMS（学習管理システム）『Moodle』を利用したLMSパッケージです。国内の大学で実績のあるプラグインや独自にカスタマイズしたプラグインをインストールしているため、組織ごとのニーズに沿った運用が可能です。

こんな
教育機関に
おすすめ

学生個々人に合わせた指導方法を求めている。
自身でのLMSの立ち上げ、運用に不安がある。
日本での導入実績が多く、日本語フォーラムがあるものが多い。

ここが強い!

01

学習分析による“学生主体”の学習体験ができる



学習分析

受講者の学習の進行状況、テストの得点、強い分野・弱い分野など、個人指導の指針となるようなデータの取得・管理を行います。



データの可視化

受講者／教員／管理者向けに学習状況を可視化します。可視化パターンは自由にお選びいただけます。



学びの質の向上

複数の大学や企業連携でLMSシステムやデジタルコンテンツを共有・活用。組織管理を可能にします。



3D仮想空間のバーチャル授業

「3D仮想空間を用いたバーチャル授業」がリモート授業による人との交流不足を解消します。

※オプション機能

02

ニーズに応じたカスタマイズが可能

標準機能をさらに使いやすいように機能を追加し、ユーザーインターフェイスもカスタマイズ。個々のニーズに応じたカスタマイズも可能です。

その他の特長

ストリーミング動画配信・管理・視聴分析、アマノート（PDF教材に音声付加・配信）等、外部システムとの連携で機能アップに対応できます。 ※一部オプション機能

スモールスタートした後、状況に合わせて最適なリソースを割り当てていくことができるため、無駄のない運用が可能です。

比較表

	Resonant LMS XP	Moodle
料金	有料	無料
契約形態	同時接続数	—
容量	1TB以上はオプション契約	お客様環境次第
外部連携	LTI連携 WebAPIを介したデータ抽出 csvファイルでの自動連携 (科目、履修)	LTI連携 WebAPIを介したデータ抽出
カスタマイズ	○ (要相談) ※他大学にて導入済みのカスタムプラグインは 標準機能として搭載されております。	△ ※維持管理にコストがかかります。
サポート	○ ※メーカーにて実施	× ※お客様にて実施

FAQ

Q 学習分析はどのように行いますか？

A 「サイト利用分析ダッシュボード」のほか、「インテリボード」「アナリティクスダッシュボード」「BI(ビジネスインテリジェンス)」等との連携によって実現します。

Q バージョンアップはどのように行いますか？

A 年度ごとに最新版へのバージョンアップを行います。
※実際に適用するバージョンは、カスタムプラグインの関係によりバージョンアップ適用年度の前年11月にリリースされるバージョンを使用します。

Q サポート体制はどのようになっていますか？

A 24時間365日、深夜でも休日でも、メール・電話でのサポート※を行っています。
※深夜、休日はサービスが利用できない不具合時に限ります。

●お求め、ご相談は・・・



※本パンフレットに記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。
※内容および対象商品については、予告なく変更する場合があります。

パナソニック デジタル株式会社

浜 離 宮 オフィス 〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1 TEL 03-5148-5578
末 広 町 オフィス 〒530-0053 大阪市北区末広町2-40 TEL 06-6315-8634
博 多 オフィス 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-17-1 TEL 092-482-1577

【商品の情報やお問い合わせは】 <https://service.digital.panasonic.co.jp>

■ YYA01222-C2